

歴史・文化・自然が魅せるまち

風を感じて
ぶらっと歩こう

吉備の國 総社

のどかな田園風景のなかには

古墳や山城や五重塔は

この地が古代吉備王国の

中心地であったことを

教えてくれる。

謎につつまれた

神話の世界を訪れる

心惹かれる過ぎし日への旅



吉備の國ハイライト

繁栄誇るいにしえの情緒を巡る

備中国分寺

奈良時代、聖武天皇の勅願により、全国に建てられた国分寺のひとつ。建立当時は現在よりはるかに広い敷地を有していたことが出土などから確認されており、その寺域は国の史跡に指定されている。奈良時代の七重塔は南北朝時代に焼失したが、江戸時代に再建された岡山県内唯一の五重塔（国指定建造物）が現存する。三重塔として再建が予定され3層目まではケヤキ材、4、5層はマツ材が主に使用されている。吉備路のシンボルの存在として、代表的な景色のひとつである。春には一帯でんげんの花が咲き、「吉備路れんげまつり」が開催される。

「こもり塚古墳（国指定史跡）」

前方後円墳である。石室中こもりが生息していたことからこもり塚古墳と名づけられた。横穴式石室が開口しており出入りができる。天井が3枚の巨岩からつくられる玄室のなかには石棺があり、発掘調査では副葬品も確認された。仁徳天皇との悲恋物語で知られる美女くろひめ墓との伝説があり、くろひめ塚とも呼ばれていたが、こもり塚古墳の築造は6世紀であり仁徳天皇とくろひめは4世紀の人と考えられている。

作山古墳（国指定史跡）

前方後円墳として全国10番目の規模を誇る全長約282mの三段に築成された古墳でそれぞれの段には円筒埴輪が並んでいたと推測されている。築造年代は5世紀中ごろ。この地域の豪族の墓と考えられている。吉備路自転車道のちかくにあり、自由に立ち入ることができる。近隣には全国第4番目の規模の造山古墳もあり、古代吉備の国が大きな勢力をもっていたという見解の証とされる。

総社宮（市指定史跡）

備中国内324社の神を合祀した社律令制下の天武朝時期（672〜686年）頃より、中央から各国に派遣された国司は、国内の神社を巡拝することになっていた。しかし、平安時代の後期以降治安の悪化や国司の権限が衰退したため、神社巡拝をやめ、国府の近くに国内の神社すべてを合祀するようになった。これがすべての社・総社で総社市の名前の由来となっている。総社のまちはこの社の門前町として栄え発展した。拝殿や幣殿には、江戸時代から残る著名な画家の絵や、県内最古の絵馬など貴重なものが数多く奉納されている。長い回廊を水面に映す三島式庭園が美しい。

輕部神社

たちねの桜といわれる枝垂桜があったことから、全国の安産・母乳の出を願う女性に信仰される神社。女性の乳房を形取った絵馬が多数奉納されており別名おっぱい神社、乳神様とも言われる。

鬼ノ城（国指定史跡）

鬼城山（標高約400m）の8〜9合目に築かれた古代山城。白村江の戦いに敗れた後、唐・新羅の侵略に対する護衛用の城とする説が有力。史書には記載がなく謎が多い一方、地元に残る温羅伝説にまつわる城とされる。石垣・土塁による城壁には4つの門と6つの水門が築かれ、城内には食料貯蔵庫・管理棟と思われる礎石建物跡などが発掘されている。城門と城壁の一部が再現されており、眼下には古代吉備の國の中核地であった総社平野が、また、晴れた日には遠く四国を遠望できる絶景の地でハイキングコースが脚光を浴びている。

岩屋寺

鬼ノ城から峰続きで3kmのところにある無住の寺。平安時代には多くの僧坊があったと推察されている。背後には温羅伝説（吉備津彦命の鬼退治伝説）の鬼が持ち上げてつくったと言われる花崗岩の大きな洞窟があり、伝説上鬼の住処とされている。花崗岩にあるくぼみは鬼の指の跡とされており、このあたり一帯には鬼に因んだ岩や江戸時代の観音めぐりコースの一部が残っている。

井山宝福寺

臨済宗東福寺派の中本山である禅宗寺院。西国布教の拠点として、地方の中でも有力な禅宗寺院として数えられる。山水画の大成者、画聖雪舟が少年時代に修行した寺であり、境内には雪舟をたたえる碑が建てられている。山門・仏殿・禅堂・鐘楼など七堂伽藍がそろった本格的な禅宗様式の寺で、三重塔は国指定重要文化財に指定されている。

名勝豪溪

高梁川支流横谷川上流に位置する全長600mの渓谷。国指定の名勝。侵食による花崗岩の奇岩・奇峰が連続して出現し、高さ330mの天柱山はハイライトである。秋の紅葉時期の景観は有名で県内外より多くの観光客を楽しませている。

福山城跡

南北朝時代「太平記」に記された福山合戦の舞台となった城の跡。足利尊氏と後醍醐天皇の争いである南北朝時代の歴史のひとつコマをこの地で確認することができる。現在の遺構としては一の段、二の段の間に城門跡の石垣が確認でき、また空堀、石列、井戸跡などもある。

まちかど郷土館

明治43年建築の旧総社警察署で、現存する市内唯一の明治洋風建築。館内では備中売薬、阿曾の鋳物、い草関係など、明治時代を中心とした伝統産業の展示コーナーがある。総社市の産業の歴史がひと目でわかるので是非訪れたいスポット。午前9時から午後5時まで。入館無料。月曜日は休館。

旧山陽道

備中国分寺前の大きな通りから少し南に入った細い道が旧山陽道である。古くは律令時代に「七道駅路」（東海道・東山道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道）の1つとして、中央と大宰府を結び、当時の国内最重要路線であった。古代・中世にあってもその重要な役割に変わりはなく、門前町や宿場町が栄える街道であった。今通ると街道沿いには古墳や郷土館、常夜灯などを見つめることができる。

受け継がれし吉備伝説 壮大な浪漫の軌跡を巡る

桃太郎伝説の源流

「吉備津彦命VS温羅」伝説

垂仁天皇の時代、吉備の国の山中深く、百濟からやってきた温羅と呼ばれる鬼が棲み、都へ送られる物資や婦女子を略奪した。鬼の棲家は鬼ノ城と呼ばれた。困った吉備の国の人々は、大和朝廷にこの鬼を征伐するように願い出た。そこで武勇の名高い孝靈天皇の皇子イサセリヒコノミコが遣わされた。吉備の山中に陣を構えたイサセリヒコノミコと温羅との戦いは激しさを極めた。ミコトの放つ矢と温羅の投げる岩はたがいに譲らず途中で激突し落ちてしまふ。ミコトは同時に2本の矢を放ち、一矢は岩と激突、もう一矢は温羅の左目に命中した。矢が落ちて岩になった場所を「矢食いの宮」といい、温羅が血を流し、鯉になって逃げた川を「血吸い川」という。ミコトは鵜になって鯉を捕らえ、その宮を「鯉食い神社」と



古代のラブストーリー

くろひめと仁徳天皇の恋路は…

日本最大の古墳で有名な第16代仁徳天皇は4世紀ごろの聖帝とされる。人家のかまどから飯を炊く煙があがっているのを見て、民衆の負担を軽くするために租税役務を3年間（以上）免除したといわれている。仁徳天皇は、その美しさで絶世の美女名高い吉備のくろひめを都に呼び寄せ寵愛した。しかし、くろひめは皇后の嫉妬にあい吉備の国へ帰されてしまふ。想いを募らせた仁徳天皇は、皇后には「淡路島に狩りにいく」と嘘をいい吉



後世に名を残した画聖雪舟の修行 宝福寺と雪舟とネズミ

室町時代。備中の国赤浜（現総社市赤浜）に生まれた雪舟は、僧侶の修行をするため、宝福寺に小僧として入っていた。もともと絵を描くことが大好きな少年であったため、修行そっちのけで毎日絵ばかり描いていた。そんな雪舟に、和尚はとうとう堪忍袋の緒が切れて、雪舟を堂の柱に縛り付けてしまった。一人お堂に残された雪舟は悲しみのあまり涙があふれ、足元にその涙がポタポタと落ちていった。もういいだろうと、和尚が縄を解きにお堂に行ったところ、雪舟の足元に一匹の大きなネズミがいた。和尚が追



レンタルサイクル・吉備路自転車道 (吉備路サイクリングコース)

〈総社駅前〉
連絡先／荒 木 （0866）92-0233

〈備中国分寺前〉
連絡先／高 谷 （0866）93-3421

〈備前一宮駅前〉
連絡先／ウエド （086）284-2311

●営業時間
午前9時から午後6時まで

●台 数
500台

●料 金
のりすて制 1,000円(1日)
周 遊 制 400円(2時間まで。以降1時間ごとに200円加算。営業時間内に戻ること)



宿泊施設のご案内

旅館名	住所	電話番号
サントピア岡山総社	総社市秦1215	(0866)95-8811
国民宿舎 サンロード吉備路	総社市三須825-1	(0866)90-0550
ビジネス旅館 総社	総社市溝口60-2	(0866)92-8990
STATION PLAZA ホテル池田屋	総社市駅前一丁目2-2	(0866)90-0100

●吉備路ボランティア観光ガイド協会
総社市三須825-1（吉備路観光案内センター内）
(0866)92-1211

観 光 案 内

●吉備路観光案内センター	総社市三須825-1	(0866)92-1211
●総社駅前観光案内所	総社市駅前一丁目1番1号	(0866)93-1470
●国分寺観光案内所	総社市上林1046	(0866)94-3155